

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 社会（公民） 科目 政治・経済
教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 詳述 政治・経済 ）

教科 社会（公民） の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代日本の政治 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、右の評価基準を身に付けることができるよう指導する。	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 第2章 日本国憲法の基本的性格	【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現代社会の諸事象を通して理解を深める。 ・諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		13
		定期考査		○	○	○	1
	現代日本の政治 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、右の評価基準を身に付けることができるよう指導する。	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第3章 日本の政治機構 第4章 現代日本の政治	【知識・技能】 ・議会制民主主義、地方自治について、現代社会の諸事象を通して理解を深める。 ・諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力】 ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	○		8
		定期考査		○	○	○	1

2 学 期	現代日本の経済 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、右の評価基準を身に付けることができるよう指導する。	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ 第3章 現代経済と福祉の向上	【知識・技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現代社会の諸事象を通して理解を深める。 ・諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力】 ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	○		14
		定期考査		○	○	○	1
	現代の国際政治・経済 国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深めることに向けて、個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、右の評価基準を身に付けることができるように指導する。	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 第2章 現代の国際経済	【知識・技能】 ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と貿易、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力】 ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現すること。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。	○	○		12
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	家庭学習等においてこれまで学んだ知識を活かし、探究が深まるように指導する。						
合計							
70							